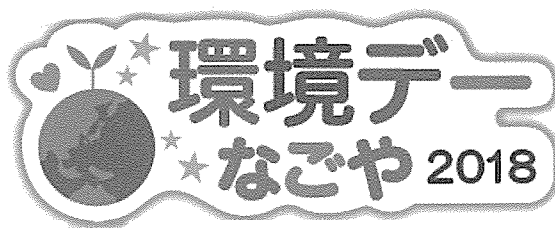


NEWS



「環境デーなごや2018」報告

平成30年度環境学習イベント②
AELネットスタンプラリー企画に協賛



メインステージのオープニングセレモニー

19回目となる「環境デーなごや2018」が、9月15日（土）午前10時から午後4時まで、久屋大通公園（エディオン久屋広場・エンゼル広場・名古屋テレビ塔下）にて開催されました。

今年のテーマは「ごみ非常事態宣言から20周年 未来へつなぐ協働のバトン」として、市民・事業者・行政の協働により、ごみの減量・分別・リサイクルに取り組んできた歩みを振り返るとともに、改めて持続可能な未来へ向けて、一人ひとりが身近なエコ活動に取り組んでいただけるよう、分野や主体、世代を超えて交流することで、環境について学び合える場をつくりたい。メインステージの開会式で名古屋市長 河村たかし氏は、「全国主要8都市の中で、名古屋の街がまた行きたくない街ナンバーワンになりとても残念です。しかし、住みやすい街であるかという問いでは、7～8割の方が住んでみたいと回

答されています。住みやすい街に名前が挙がる名古屋は新しい時代を迎えており、これは良いことではないでしょうか。」と開会挨拶を述べました。次に関係者らがステージに整列し、SDGs宣言を発表し会場の来客者に向けて「ごみ非常事態宣言20周年」について啓発活動を行いました。

協会事務局はエンゼル広場にブースが設置され、ワークショップの体験コーナーは、当協会員の（株）コスモス・エコ研究所 浦田恵美子社長らが、押し花等の葉づくり、色画用紙を使った昆虫の立体切り絵、小枝、どんぐり等を使用した工作を、来場者の方々に体験していただきました。また、来場者の中にはAELネットのスタンプラリーの参加者も多く、AELネットの環境学習活動について広くPRを行いました。

当日は朝から小雨と本降りが繰り返され、悪天候の中での開催でしたが、協会ブースのクラフトコーナーには多くの来場者がありました。参加者のほとんどは女性や家族連れですが、中には老夫婦の方もみえ仲睦まじく工作をされていました。

作品作りを通じて、身近な資源でリサイクルへの意識啓発ができた有意義な活動となりました。

（一部環境デーなごやHP資料を引用）

